

英語の中のラテン語源単語(20)

ー中学生以上の英語学習者のために

19.08.15

所内ラテン語研究会

1 Omnia mutantur, nos et mutamur in illis.

これは「万物はすべて変化し（変化させられ）、我々もまたその中において変化する（変化させられる）」と訳され、中文では“万物都在变化中, 我们也随之变化”（拉漢辞典）と紹介されています。

2 omnia は形容詞 omnis (all, every, whole 等) の中性複数主格ですが、ここでは名詞に転化して「万物」の意味で使われています。これに関連する英単語には、次のものがあります。

- (1) omnibus
- (2) omnifarious
- (3) omnificent
- (4) omnipotence, omnipotent
- (5) omnipresent
- (6) omniscient
- (7) omnivorous
- (8) omnium-gatherum

3 mutantur 及び mutamur は、第 1 変化動詞 mutare (to move, shift, change, alter 等) の直説法、現在、受動相、複数 3 人称及び複数 1 人称をそれぞれ表わします。これに関連する英単語には、次のものが含まれます。

- (1) mutable, mutability
- (2) mutagen
- (3) mutant
- (4) mutate, mutation (「突然変異」という意味もあります)
- (5) mutual, mutuality
- (6) commute, commutate, commutation
- (7) permute, permutate, permutation
- (8) transmute, transmutation

4 nos は人称代名詞「我々」(we) の主格又は対格を表わし、illis は指示代名詞 ille (that) の複数奪格を表わします。et は、ここでは also を表わしています。

- 5 なお、法律用語としての **mutatis mutandis** は、**mutare** の完了受動分詞 **mutatus** の中性複数奪格及び **mutare** の動形容詞 **mutandus** の中性複数奪格により構成されています。奪格をこのような構造で用いる句は、独立奪格句と呼ばれ、英語の分詞構文に似ています。そして、これを日訳すると「変更されるべきものが変更されて」となり、日本の法律用語「準用する」を英訳する際に用いられています。法律関連独立奪格句としては、**pari passu** (with equal step、同一の歩調で、同一の順位で)、**vice versa** (with the position being reversed、逆の場合もまた同じ)があります。
- 6 上記 5 中の **pari** は形容詞 **par** (equal, like 等) の男性単数奪格であり、**passu** は第 4 変化男性名詞 **passus** (step, stride, pace 等) の単数奪格です。**par** に関連する英単語は、次のとおりです。
- (1) **par** (ゴルフの「パー」も意味します)
 - (2) **pair**
 - (3) **peer, peerless, peerage**
 - (4) **parlay**
 - (5) **compare, comparable, comparison, comparative** (文法用語としては「比較級」), **incomparable**
 - (6) **compeer**
 - (7) **parity, disparity, imparity**
 - (8) **nonpareil**
 - (9) **pari-mutuel**
 - (10) **umpire** (**non+peer** を表わします)
- 7 次に、上記 5 中の **versa** は第 3 変化動詞 **vertere** (to turn, turn around 等) の完了受動分詞 **versus** の女性単数奪格です。これらの語に関連する英単語はきわめて多いので、主なものを列挙します。
- (1) **verse, versed, versify**
 - (2) **version**
 - (3) **versus**
 - (4) **versatile**
 - (5) **vertebra**
 - (6) **vertex** (図形等の「頂点」という意味もあります), **vertical** (反意語は **horizontal**)
 - (7) **vertigo**
 - (8) **vortex**

- (9) adverse, adversary, adversity
- (10) advert
- (11) advertise, advertisement
- (12) animadvert
- (13) anniversary
- (14) avert, aversion, averse
- (15) controvert, controversy, controversial
- (16) converse, conversant, conversation
- (17) converse, conversely
- (18) convert, convertible, conversion
- (19) diverse, diversify, diversification
- (20) divert, diversion
- (21) divorce
- (22) evert
- (23) introvert, introversion, extrovert, extroversion
- (24) invert, inverse, inversion
- (25) malversation
- (26) obvert, obverse, obversion
- (27) pervert, perversion, perverse, perversity
- (28) revert, reversion, reverse, reversal
- (29) subvert, subversion
- (30) tergiversate, tergiversation
- (31) transverse, transversal
- (32) traverse, traversal
- (33) universe, universal, university
- (34) prose (pro+versus) , prosaic

なお、英単語 verge(to turn, tend toward 等), converge, diverge 及び reverberate も、ラテン単語 vertere が分出した印欧語根 wer-²(to turn, bend) から vertere とは別に分出したラテン語第 3 変化動詞 vergere(to turn, tend toward 等) 又は中性名詞 verber (whip, nod 等) に関連する語です。そして、wo-, wr-等で始まる英単語 worth, worry, wrong, wrestle, wreath, writhe, wrath, wring, wrangle, wrench, wrinkle, wry, wriggle, wrist 等は、ラテン語とは関係なく上記語根にたどりつくことのできる語です。

- 8 続いて、上記 5 中の vice を取り上げます。この語は vicis (属格) の形式で辞書に掲載されていますが、change, alteration 等を意味します。この語に

関連する英単語には、次のものが含まれます。

- (1) vicar
- (2) vicarious
- (3) vice, vice-
- (4) vicissitude

なお、悪徳等を表わす英単語 **vice** は、このシリーズ(2)において言及したラテン単語 **vitium** に由来する語であって、上記 5 中の **vice** とは関連のないものです。

9 ロシア語コーナー

上記 1 中のラテン語文をロシア語で表わすと、次のようになります。

Omnia mutantur, nos et mutamur in illis - Все меняется, и мы меняемся.

10 初歩的数学用語コーナー

- (1) 小数 decimal, decimal fraction

ラテン語の基数 10 及び序数 10 は、**decem** 及び **decimus** であり、**decimal** はこれらの語から派生した英単語です。**fraction** については、このシリーズ(21)10 において言及します。

- (2) 小数点 decimal point
- (3) 小数第 1 位 the first decimal place, the tenths place
- (4) 有限小数 terminating decimal, finite decimal
- (5) 無限小数 nonterminating decimal, infinite decimal
- (6) 循環小数 recurring decimal, repeating decimal

このコーナーにおいて用いられた英単語は、**the first** 及び **the tenths** を除けば、いずれもラテン語由来又はラテン語経由の語です。

11 上記 10(2)中の point は印欧語根 **peuk-**又は **peug-**(to prick)から分出したラテン語第 3 変化動詞 **pungere** (to prick, puncture, stab 等) から派生した語ですが、当該ラテン語動詞に関連する英単語には次のものが含まれます。

- (1) poignant, poignancy
- (2) point(対応するラテン語中性名詞は **punctum**)
- (3) puncheon(厚板、間柱、刻印器等)
- (4) punctual, punctuality
- (5) punctuate, punctuation
- (6) puncture

- (7) pungent
- (8) compunction, compunctious
- (9) expunge, expunction
- (10) appoint, appointment
- (11) disappoint, disappointment

また、上記印欧語根からはラテン語男性名詞 **pugil** (**pugilist** 等)、男性名詞 **pugnus** (**fist** 等) 及び名詞由来動詞 (**denominative**) である第 1 変化動詞 **pugnare** (**to fight with the fist** 等) も分出しており、これらのラテン単語に関連する英単語としては次のものを摘示することができます。

- (1) pugilism, pugilist
- (2) pugnacious
- (3) impugn
- (4) oppugn, oppugnant
- (5) repugn, repugnance, repugnant